

令和6年度学校健康づくり啓発ポスターコンクール応募要領

主催／公益財団法人日本学校保健会
監修／文部科学省

1. 趣旨

学校での健康づくりは健康診断が中心で、学校保健安全法でも児童生徒等の健康の保持増進を図る保健管理の中核に位置されています。また、健康診断は、家庭での健康観察を踏まえて、学校生活に支障のある疾病をスクリーニングし、健康状態を把握するという役割と、その学校での健康課題を明らかにして健康教育に役立てるという二つの役割があります。このポスターコンクールは子どもたちからこのような学校での健康づくりに特化した絵を募集し、ポスター化して各学校等に配布することで、絵を通じて自らの健康に対する関心、理解を高めることを目指しています。

2. テーマ

学校での健康づくりに関する絵画 具体的でも抽象的でも可

3. 募集部門・対象

①小学生部門 ②中学生部門 ③高校生部門

対象：国公立小学校、義務教育学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒

4. 応募条件

- (1) 作品は未発表のもので、1人1点の応募です。原則として別紙「学校での健康づくりの絵を描くために」にあるキャッチコピーに合った原画を募集します。既存のキャラクターなど他に著作権のあるもの、肖像権の侵害に当たる写真等の使用は避けてください。**特に、画像生成系 AI の使用は、著作権上、予期せぬトラブルの原因となりますので、使用を禁じます。**
- (2) 規格・画材等は以下の通りです。
 - ① 原則として四つ切画用紙（縦 540 mm×横 370 mm）。
 - ② 画材は自由。コンピューターグラフィック（CG）可。（CG の場合は、A4 サイズ以上）
 - ③ 縦、横どちらでも可

5. 提出方法および提出先

- (1) 絵画作品は折らず、裏に必ず作者名・学年、学校名と、**絵を思いついたキャッチコピー**を記入して宅配か郵送にて提出ください（応募票有り）。なお、応募作品は原則として返却いたしません。**なるべく作品は丸めないで送ってください**
- (2) 募集締切：令和6年10月31日（木）必着
- (3) 提出先：〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6F
公益財団法人日本学校保健会 学校健康づくり啓発ポスター募集係

6. その他（先生向けの書き方になっていますが、応募する人はよく読んでください。）

- (1) ① 別紙「学校での健康づくりの絵を描くために」からキャッチコピーを選ぶか、自分で考え、子どもたちのイメージで描かせてください。
② キャッチコピーは絵の中に入れていないことを原則としますが、キャッチコピーを絵の中に入れる場合は、自分で考えたキャッチコピーでも構いません。
③ 別紙「学校での健康づくりの絵を描くために」及び〈応募票〉は、本会のウェブサイトからダウンロードできます。別紙は、健康教育の一環としてもご活用ください。（<https://www.gakkohoken.jp>）
- (2) 各部門のポスター採用作品は複製・印刷し、日本学校保健会のポスター等として発行、全国の学校等へ配布します。また、ウェブサイトでの公表等、本会のほかの事業で使用する場合もあります。
- (3) **各部門のポスター作品採用者には、最優秀賞として本会より表彰状と副賞（図書カード）、優秀賞各2～3名には表彰状を贈呈します。**
- (4) 最優秀賞、優秀賞等最終選考まで残った作品は、会報「学校保健」及びウェブサイト等に掲載します。
- (5) **応募者全員に参加賞を贈ります。**ご担当（代表）者に一括して送付しますので、送付先の学校名・担当者・住所・電話番号・応募点数・応募者名（氏名・学年）を明記した別紙を添えてご送付ください。
- (6) 採用作品を使用したポスターの著作権はすべて本会に帰属します。また、採用作品はポスター化するに当たり、作風を損なわない範囲で一部修正することがあります。

児童生徒のみなさんへ

令和6年度学校健康づくり啓発ポスターコンクール 学校での健康づくりの絵を描くために

公益財団法人日本学校保健会

下にある①～②のキャッチコピー（ポスターを作ったときに使う言葉）を参考に自分のイメージしやすい題材を1つ選んで絵をかいてください。（ここには示されていない自分で考えたキャッチコピーでもかまいません。）

絵をイメージしたキャッチコピーの文字は、自分の絵の中にできるだけ入れないでください。（絶対ではなく、入れてもかまいません）

【感染症から自分やほかの人の体を守ろう】

◆キャッチコピー

- ①いつでも手洗い しっかり予防
- ②咳エチケット わたしは（僕は）うつさない
- ③免疫のもとだ すいみん、食事！
- ④しっかり手洗い 食中毒を防止しよう！
- ⑤ウイルスぶっ飛ばせ！ ひらけ窓！
- ⑥無理して でかけない うつさない

ウイルスなどの病原体は、口や鼻、目などの粘膜から体の中に入りこみます。ウイルスがついた手で口や鼻、目をさわると、病気になることを接触感染といいます。手洗いは、コロナやインフルエンザのウイルスだけでなく、ノロウイルスやほかの感染症の予防にもなります。風邪などをひいている人のだ液にはたくさんのウイルスが含まれていて、大声やくしゃみ、せきなどで口から飛んだつばがかかって病気になることを飛沫感染といいます。咳エチケットとは、風邪やインフルエンザなどにかかっている人が咳やくしゃみをするときにマスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることで、飛沫をほかの人にかからないようにすることです。感染している人が他の人にうつさないためには咳エチケットはとても大事です。また、日ごろからきちんとした睡眠や食事をとり、免疫力を落とさないように心がけましょう。

【スポーツや部活・クラブ活動でのけがの防止】

◆キャッチコピー

- ⑦しっかりやろう準備運動
- ⑧あぶない やらない 無理な日は

運動をするときにはしっかりと準備運動をすることがけがの予防になります。また、部活動やクラブ活動でも熱中症になりそうな暑い日には無理な運動はしないように心がけましょう。

【暑さに負けず、熱中症を予防しよう】

◆キャッチコピー

- ⑨運動の前や途中は水分補給 ⑩暑い日の運動 水分・塩分 しっかりとろう
⑪猛暑の運動 危険がいっぱい ⑫暑い日は無理せず休もう

熱中症にならないためには、水分や塩分の補給が大事です。暑い時期には運動の前や途中だけでなく、冷房のない体育館に長い時間いたり、校外学習などで外に行ったりした時でも水分はこまめにとりましょう。

また、暑い日に激しい運動をしたり、冷房のない場所で休みをとらなかつたりすると熱中症になる危険がふえます。朝から体の具合が悪かったり、少しでも具合が悪くなったりしたら、すぐに近くにいる先生や大人に言うようにしましょう。

【望ましい生活習慣で心も体も健康に】

◆キャッチコピー

- ⑬そのねむさ、スマホのせい？ ⑭ネットを正しく使いましょう
⑮外で思いっきり体を動かそう ⑯正しい姿勢でスマホや読書
⑰食べたら「はみがき Ha! Ha! Ha!」 ⑱三食食べよう

生活習慣とは、食事や睡眠、歯みがきのほかにも運動やテレビ、インターネットの時間などをきちんと習慣づけることをいいます。生活習慣が不規則になると病気にかかりやすくなったり、心が不安定になったりします。また、インターネットは使い方によって、自分が傷つけられたり、人を傷つけたりしてしまいます。

【私の健康診断、みんなの健康診断】

◆キャッチコピー

- ⑲どれだけ大きくなったかな ⑳親子で確認 健診の記録
㉑健康診断は 自分自身を知るチャンス ㉒私の体 歴史をつづる健康診断

学校の健康診断では、みなさんが毎日の勉強や運動、学校での生活が無理なくできる体かどうかをみるために行っています。また、みなさんの貴重な成長の記録をします。一年でどれだけ身長が伸びたのか、太りすぎたりやせすぎたりしていないか、自分の年齢にふさわしい成長ができているかなど、これまでの健康診断の記録と比べてみてください。お家の人にも必ず見ってもらって、なにか心配なことがあれば、担任の先生や保健室の先生に相談するようにしてください。

※このほかにも学校での健康づくりに関するテーマであれば、キャッチコピーを自由に考えて絵をかいてもかまいません。(自分で考えたキャッチコピーは、絵の中に入れてもいいですが、絵の裏側の応募票などに記入してください)